

令和7年度 伊東市総合計画・総合戦略推進委員会 議事録

- 1 日 時 令和7年12月11日（木） 午前10時から午前11時まで
- 2 場 所 市役所8階大会議室
- 3 出席者 稲葉和正会長、稲葉雅之職務代理者、池田真幸委員、村田充康委員、
石橋正英委員、下田盛久委員、遠山泰範委員
(欠席 高田充朗委員、西野由季也委員、関野耕一委員)
企画部長 近持剛史、理事 中谷祐典、企画課長 菊地貴臣、課長補佐
鈴木綾子、主査 平山隼人

4 内 容

(1)開会

【企画課長】

ただいまから、伊東市総合計画・総合戦略推進委員会を開会する。本日の会議を招集申し上げたところ、止むを得ず欠席する旨の届けが、高田委員、西野委員、関野委員からあったので、報告する。以下の議事進行は稲葉会長にお願いする。

【稲葉(和)会長】

議事進行に先立ち、一言ごあいさつ申し上げる。この委員会は令和3年3月に策定した第五次伊東市総合計画の前期に当たる、令和3年度から令和7年度を対象期間とした第十一次基本計画の推進に向けて、総合計画に掲げる成果指標、基本的な取組及び主な内容の進捗管理をお願いするものである。

一方で、計画期間の後期に当たる令和8年度から令和12年度までを対象期間とした第十二次基本計画については、今年度に総合計画審議会を開催し、来年度からの実施に向けて策定を進めているところである。

本日は皆様から忌憚のない御意見をいただき、来年度から実施予定である第十二次基本計画及び実施計画の推進に寄与できるよう御協力をお願いする。

(2)第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画の達成状況について

【稲葉(和)会長】

次に、次第2「第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画の達成状況について」を議題とする。事務局から説明を求める。

【事務局】

それでは、次第2「第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画の達成状況について」を説明申し上げる。配付資料「第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画実施計画の達成状況」の1ページをご覧ください。

第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画は、取組の4年目となる令和6年度が終了したことから、第十一次基本計画に記載された政策目標ごとの重要業績評価指標（KPI）の評価及び検証を行い、令和7年度以降の事業執行及び今年度策定中である第十二次基本計画や実施計画に反映する。

1ページ上段をご覧ください。成果指標は指標数82に対し、指標達成数は36となり、達

成率は43.9%となった。基本的な取組を示した管理指標については、指標数474に対し、達成指標数は257となり、達成率は54.2%となった。合計で、指標数556に対し、達成指標数は293となり、達成率は52.7%となった。なお、1ページから12ページまでは、政策目標ごとの達成状況を示したものである。後ほど、各政策目標の評価について、説明させていただく。

13ページをご覧ください。令和3年度から令和6年度の達成状況を政策目標ごとにまとめてある。13ページ下段をご覧ください。全指標の令和3年度から令和6年度の推移は、約52%から57%程度となっている。

以上で説明を終わる。

【稲葉(和)会長】

ただいまの説明に対し、質問があればお願いします。

(意見なし)

特に意見がないようなので、次の議題に移る。

(3)第十一次基本計画の令和6年度実績評価について

【稲葉(和)会長】

それでは、次第3「第十一次基本計画の令和6年度実績評価について」をご説明申し上げます。配付資料「第五次伊東市総合計画・第十一次基本計画実施計画の実績報告書」をご覧ください。

5ページをご覧ください。政策目標1「安全で安心して暮らせるまち」の施策分野1「危機管理体制の充実」において、成果指標である「発災時の人的被害者数」の目標値0人に対し、実績値は0人となり、目標達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、6月18日及び8月30日から9月1日に大雨のため避難所を開設し、合計64名の避難者を受け入れたが、死傷者を出すような大規模な自然災害の発生はなかった。引き続き、引き続き人命の保護を最優先とした事前防災対策の推進に努めていく。としている。

8ページをご覧ください。政策目標1「安全で安心して暮らせるまち」の施策分野5「消防体制の強化」において、成果指標の1「消防団員充足率」の目標値100%に対し、実績値は89.1%となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、「分団定数に関するアンケート」の結果を踏まえ、消防団員数の適正化を図るため条例定数の改正及び消防団員を確保するための機能別消防団員制度を導入するとしている。また、成果指標の4「消防水利充足率」の目標値84%に対し、実績値は83%となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、消防水利未整備地区に2基の消火栓を新設したため、充足率が前年比0.3%増加したが、年間設置目標の5基を達成することはできなかったため、目標を上方修正した年間充足率1%の上昇には届かなかった。消防水利未整備地区への消火栓等の新設について、引き続き、伊東消防署・水道課と協議検討していく。としている。

11ページをご覧ください。政策目標2「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」の施策分野3「出産・子育て支援の充実」において、成果指標の2である「出産・子育て支援の充実」に満足している市民の割合（市民満足度調査）の目標値68.0%に対し、実績値は

58. 5%となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、目標値を達成できなかったが、出産・子育て支援に関する各種事業の開催や各種媒体による情報発信により、市民満足度は年々向上してきている。引き続き、出産・子育て支援に関する各種事業を円滑に実施し、各種媒体による市民への発信力を高め、出産・子育て支援の充実を図り、市民満足度を高めていきたい。としている。

12ページをご覧ください。政策目標2「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」の施策分野4「保育及び幼児教育の充実」において、成果指標の2「園での保育に満足している保護者の割合（保育園・幼稚園評価アンケート）」の目標値99%に対し、実績値は97.7%となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、本実績は幼稚園・保育園で実施した保護者アンケート結果の平均値（幼稚園99.7%・保育園95.6%）としており、園で実施している職員研修の充実を図る、職員の自己評価の方法を見直す、など、保育の質の向上に努めたい。また、ICTを活用し保護者とのコミュニケーション強化や、利便性の向上に努めていく。としている。

14ページをご覧ください。政策目標2「誰もが健やかに暮らし活躍できるまち」の施策分野6「障がい者福祉の充実」において、成果指標の3「市内企業の障がい者雇用率（年度末数値）」の目標値2.60%に対し、実績値は2.29%となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、市内企業の障がい者雇用率は増加傾向にあるが、目標値までは達成していない状況である。令和8年度以降法定雇用率が引き上げられるため、より一層ハローワーク伊東等と連携を強化し、法定雇用率の確保を目指す。としている。

18ページをご覧ください。政策目標3「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」の施策分野1「自然との共生社会の推進」において、成果指標の2「愛護動物の迷惑行為に寄せられる苦情件数」の目標値18人に対し、実績値は49人となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、飼養している愛護動物の適切な管理について広報等を通じて啓発等を実施したが、苦情件数は目標値を上回った。広報いとうや市HPにて飼育している愛護動物の適正管理について啓発活動を行っていくとともに、苦情対象者については、熱海保健所と連携し、適正飼育について指導を行い、再発防止を図る。としている。

21ページをご覧ください。政策目標3「良好な環境が広がり快適に暮らせるまち」の施策分野6「公共交通体系の充実」において、成果指標の2「鉄道、路線バス、デマンド交通、タクシーの年間利用者数」の目標値8,651,000人に対し、実績値は6,805,000人となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、路線バス事業者が新たなWebサービスを導入したことで、時刻表やバスロケーションサービスの使い勝手が改善されたほか、タクシー各社も配車アプリを導入するなど、DX化によるユーザビリティ向上が図られている。運転士不足の中、利便性を損なわない輸送のため、継続して運行路線や便数の見直しを行うほか、スマホ連動型の交通マップの制作も進め、分かりやすい公共交通サービスの提供に努めたい。としている。

23ページをご覧ください。政策目標4「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」の施策分野1「教育環境の整備」において、成果指標の3「異物混入、アレルギー、食中毒

等、給食を原因として人体に影響を及ぼす事故の発生件数」の目標値0人に対し、実績値は0人となり、目標達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、アレルギーガイドブックの改訂により主要7品目から8品目に変更されたことにより、くるみについても除去食対応を実施した。年度当初の会議等において各校で実施方法を共有し、事故を未然に防止する体制を整えることができた。ヒヤリハットを共有することで重大事案の発生を未然に防止できるよう、毎年アレルギー対策委員会を開催し、原因となった事例の再発防止について確認し、事故発生防止に向けて共通認識できている。としている。

25ページをご覧ください。政策目標4「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」の施策分野3「生涯学習活動の推進」において、成果指標の2「市民一人当たりの図書貸出冊数」の目標値3,28冊に対し、実績値は1,89冊となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、図書館の外壁が崩落し、令和6年12月19日から令和7年3月31日までの間、図書館を臨時休館したことが、来館者数及び貸出冊数が大幅に減少した主な原因であると考えます。時勢・トレンドを反映した選書や蔵書構成について考慮するとともに、企画展示など図書資料の配架に工夫をし、多くの市民が本を手に取り、読みたいと感じられるような図書館運営に努める。としている。

27ページをご覧ください。政策目標4「心豊かな人を育み生涯にわたって学習できるまち」の施策分野7「郷土愛の醸成」において、成果指標の1「伊東市に将来戻ってきたいと思う高校生の割合（高校生アンケート）」の目標値64.0%に対し、実績値は63.2%となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、昨年度より増加したものの、目標値には届かなかった。昨年度に引き続き、未来ビジョン会議の委員に高校生を選出し、高校生委員の人数を3人から5人に増やすことにより、高校生の視点による“戻ってきたいまちづくり”のアイデアを伺う機会を増やした。将来戻ってきたいと思うまちづくりについて若者の視点による良いアイデアや意見を伺う機会を設け、施策への反映に努めていく。としている。なお、成果指標の2「郷土に誇りと愛着を持っている高校生の割合（高校生アンケート）」については、目標値を大幅に上回った。

29ページをご覧ください。政策目標5「活力にあふれ交流でにぎわうまち」の施策分野1「地域資源の魅力向上」において、成果指標の1「年間来遊客数」の目標値72.5万人に対し、実績値は62.5万人となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、コロナ禍明けの観光需要の高まりが落ち着きつつある中で前年比3.6%増となった。前年度から引き続き、物価高騰や施設側の従業員不足などの影響があり、令和元年比9.4%となった。令和6年の日本人国内宿泊旅行延べ人数は、前年比3.5%増、令和元年比9.4%であり、日本人のみの統計となるが伊東市とほぼ同じ傾向となっている。宿泊業の生産性向上の支援など受入体制の整備を図るとともに、観光施設のバリアフリー化の促進や、引き続き増加傾向にあるインバウンドに係る施策を推進する。としている。

31ページをご覧ください。政策目標5「活力にあふれ交流でにぎわうまち」の施策分野1「広域連携による誘客の拡充」において、成果指標の2「伊豆半島7市6町の外国人宿泊客数」の目標値66万人に対し、実績値は64,928人となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、前年比21.5%と大幅に増加しており、国全体の令

和5年から令和6年の増加率（143％）を上回った。目標値は達成できなかったが、目標値に近い人数まで増加した。国全体を上回る増加率となっていることから、引き続き、美しい伊豆創造センターや他自治体等と連携を図りインバウンド施策を進めていく。としている。

33ページをご覧ください。政策目標5「活力にあふれ交流でにぎわうまち」の施策分野7「移住定住の促進・関係人口の拡大」において、成果指標の1「移住者数」及び成果指標の2「転入超過数」については、目標達成となった一方で、成果指標の3「移住相談件数」につきましては、目標値470件に対し、実績値は431件となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、上方修正した目標値にもう一步というところで達成はできなかったが、前年度の実績値に近い相談件数を対応できたことは評価できる。相談の多くは、移住に伴う支援制度に関する内容であるため、支援制度について正しく理解し、相談者に誤った情報を与えることがないように努めていく必要がある。としている。

37ページをご覧ください。構想の推進「総合計画を推進するための土台づくり」の施策分野3「健全かつ持続可能な財政運営」において、成果指標の2『「市の財政の健全な運営」に満足している市民の割合（市民満足度調査）』の目標値55.0％に対し、実績値は52.8％となり、目標未達成となった。実績評価及び次年度修正点としては、令和5年度に比べ5.2ポイント上昇したものの、目標値には届かなかった。財政健全化法に基づく健全化判断比率は、各指標において適正な水準を維持しており、財政の健全な運営自体はできているため、周知の手法を研究し、市民により分かりやすい財政状況の開示に努めていく。としている。

以上で説明を終わる。

【稲葉(和)会長】

ただいまの説明に対し、質問があればお願いします。

【稲葉(雅)委員】

配付された市民満足度調査結果が現行計画の評価に反映されているのか。

【企画課長】

市民満足度調査の結果を成果指標としているところがあるため、資料として配付した。今回は令和6年度実績について評価しているが、お配りした資料は令和7年度の調査結果となっている。

【企画部長】

今年度の調査結果の特徴として、満足度の落ち込みが顕著である。

【企画課長】

調査結果の6から7ページに昨年度と今年度の比較が掲載されている。市政混乱の影響があったものと思われる。

【稲葉(和)会長】

他に御意見はあるか。

【竹川委員】

21ページ政策目標3の7の成果指標1「道路瑕疵による事故発生件数」に関すること

で申し上げたい。

斜面の樹木と電線が接触することによる停電が多くなっている。予防伐採に関する取組状況を教えてほしい。

【企画部長】

東京電力株式会社と協働して実施している。現在は、八幡野から赤沢に抜ける旧道を3年間くらいかけて実施しており、完了まで後2年くらいかかる。同時進行で別の場所でも実施できればいいが、予算の関係上、1つずつ実施しているところである。引き続き道路パトロールを実施する中で、必要であれば東京電力株式会社や建設課で対応していくが、個人所有の伐採対応については、持ち主との連絡が取れないなど、交渉が難しいところもある。緊急案件については、建設課を中心に実施していく。

【稲葉(和)会長】

他に御意見はあるか。

【池田委員】

金融機関の立場から申し上げる。32ページの政策目標5の4の成果指標2「新規創業件数」において、創業しても長続きしないという課題があるので、継続率というところに着目して捉えていく必要があると思う。また、伊東マッチボックスの効果について伺いたい。

【企画課長】

創業に関しては、伊東商工会議所の創業塾にて、一定のプログラムを履修しているところではあるが、担当課でも継続率の課題は把握しており、産業課にてそれを踏まえた上での起業支援を実施していくと思われる。マッチボックスについては、一定の効果があると認められる。定量的に分かりやすく示せるように担当課と協議していく。

【企画部長】

起業後の継続性について、産業課、伊東商工会議所とで連携し、相談支援等のバックアップをしていく。

【遠山委員】

11ページの政策目標2の3の成果指標2『「出産・子育て支援の充実」に満足している市民の割合』について、市民満足度は年々上昇してきているとの評価であるが、具体的な取組について伺いたいのと、個人的に市HPのアクセスがしにくいと感じている。利便性をどのように高めていくのかの方針があったらご教示願う。また、22ページの政策目標4の1成果指標2「長寿命化計画に基づく具体的な改修計画の策定・改修の実施」において、既存の学校が築40年から50年という校舎であるため、耐久の安全性だけでなく、統廃合による新校舎等のハード整備も同時進行となる。改修計画に基づく改修の実施という書き方だと、その辺が分かりにくいと感じるため、今後の指標設定の際には分かりやすくしていただきたい。新たなハード整備など、長期的な視点での目標設定が必要である。最後に、政策目標4の3成果指標2「市民一人当たりの図書貸出冊数」において、図書館が閉館になっていたため、実績値の減少は仕方ないと理解できるが、令和3年度以降減少傾向であるため、本に精通した方々に関わっていただき、本の魅力を一緒に感じ、本を手に取りたいと思う方が増えたらいいと感じた。以上である。

【企画部長】

本市の情報発信が弱いということは、様々な協議体でもご指摘をいただいている。今後、SNSの活用方法を工夫し、市のPRをアニメで動画化するなど、これまでになかったようなPR動画を市HPで案内するようにしていきたい。

【企画課長】

子育て支援アプリを導入しており、子育て支援や予防接種等の情報提供をしている。アプリの導入をしていただくように、子育て支援課と協議して普及啓発していく。

【企画部長】

長寿命化対策については、学校だけでなく、市全体の問題である。今ある施設を残していけばいいというだけでなく、使わないのであれば、スクラップしていくことも重要であると考えている。ちなみに、川奈小学校については、プロポーザルを行ったところであり、来年度から活用していく予定である。

【遠山委員】

文章で出されていたものを、アニメや動画で発信していくことは素晴らしいと思う。統廃合について、伊豆市では長い廊下の学校があり、子どもたちがワクワク通っていると伺った。統廃合と聞くと、少し悲しさもあるが、工夫をすることで少しでもワクワク感が持てるようにしていただきたい。計画にも反映していただきたい。

【企画部長】

伊豆市の学校のことは承知しており、建設時は反対の声もあったものの、建設後は評価されていると伺った。積極的な整備も必要であると感じている。

【稲葉(和)会長】

他に御意見はあるか。

【石橋委員】

27ページの政策目標4の7の成果指標1及び2について、ある新聞記者が定住に関することで若者に取材をしたところ、予想以上に戻りたくないという意見が多くて驚いた。本指標は高校生だけが対象であるが、中学生にもアンケートした方がいいと感じた。

32ページの政策目標5の4の成果指標1「有効求人倍率」において、本市は働ける場所があっても、働ける職種が少ないことが課題である。業種が増えるわけではないので、若者が働きたいと思えるような職場の環境づくりや雰囲気づくりが重要である。また、学生からの回答の中で、みんなで学習できる場がほしいという意見があり、図書館がこのような状況であるため、スターバックスのような店がほしいという意見が多かった。

【企画課長】

毎年市内高校2年生にアンケートを実施しており、その中で「伊東は住みよいまちですか」という設問や「一旦離れてもまた戻ってきたいですか」という設問がある。3分の2は、一旦市から出たいという意見であったため、それを捉えた取材結果であると思う。住みにくいと思う主な理由として、娯楽施設がない、映画館がない、買い物などの日常生活が不便、通勤・通学が不便等の理由であり、施設を作るということは簡単ではないが、未来ビジョン会議などの市民会議にて意見を伺う中で、実現可能性について検討したい。

【石橋委員】

アンケートの中に就職に関する記載はあるのか。例えば、将来伊東に戻ってきたとき、どのような仕事に就職したいと思いますか。など。理想は、伊東に住んでもらい、伊東で働いてもらうことである。

【企画課長】

具体的な業種を伺う内容はないが、伊東に帰ってきたい主な理由としては、「親や家族と一緒に住みたい」、「友人と離れたくない」、「自宅から通勤できる範囲で就職したい」である。高校生なので、身近な人と離れたくないという意見が多いと捉えている。

【企画部長】

高校生は既に都会に目を向けている方が多いので、もっと早い段階から郷土愛の醸成に取り組むことが重要であると考え、小・中学生を対象としたふるさと教室を実施している。漁業体験や農業体験を通じ、郷土愛の醸成に向けて取り組んでいる。

スターバックスやラウンドワンが駅前にあったらいいという意見を若者から多くいただいているので、代替案を考えているところである。

【稲葉(雅)委員】

大学や大企業の誘致といっても現実的ではなく、仮に誘致できたとしても若者が定着するとは限らない。娯楽がないといっても、都会にあるような娯楽ではなく、自然を楽しむような、観光客も含んで楽しめる娯楽もあるかと思う。

【稲葉(和)会長】

子どもたちを預けながら、山菜取りなど自然の中で遊ぶ体験をさせ、御家族は観光できるような仕組みがあってもいいかと思う。

【稲葉(雅)委員】

私も子どものときに海に潜って遊んだ記憶が強く残っている。何かを取ったり体験したりすることは子どもたちの記憶に残る。

【稲葉(和)会長】

他に御意見はあるか。

(意見なし)

【稲葉(和)会長】

特に意見がないようなので、次の議題に移る。

(4)その他

【稲葉(和)会長】

次に次第4「その他」を議題とする。質問があればお願いします。

【稲葉(雅)委員】

このような実績評価やアンケートを取ることは、市民が考える機会となるため、有用であると思う。市民アンケートの手法として、施設整備などの必要性を問うやり方と、費用などの詳細を説明した上で取るやり方がある。うまく使い分けていただきたい。もう一つの視点として、同規模の自治体の状況を把握し、比較することも重要である。

【稲葉(和)会長】

他に御意見はあるか。

(意見なし)

【稲葉(和)会長】

それでは本日の会議を閉会する。